

たがえ

市議会だより

No.136

2018年1月20日



目次

議案に対する主な質疑	P 2
提出議案と採決結果	P 4
一般質問	P 5
行政視察報告	P 9
市民の声、おらがまち紹介等	P 12

迫力ある音色を響かせる
マーチングバンド全国大会で金賞を受賞した
寒河江中部小学校金管バンド

第2回臨時会・第4回定例会(12月定例会)

第2回臨時会は11月9日に開かれ、専決処分
の補正予算1件を承認、補正予算1件を可決し
ました。

また、12月定例会は12月4日から15日までの
12日間の会期で開かれ、人事案件1件を同意、
条例改正3件・補正予算4件・指定管理者の指
定3件・その他3件を可決しました。



同意

市教育委員会委員の任命

鈴木多鶴子さん(丸内)

※市教育委員会委員のうち
1名が任期満了となるこ
とから、新たに任命した
もの。

議案に対する主な質疑

条例関係

水道給水条例の一部改正

議員 量水器口径13ミリと
20ミリの水量料金を、使用
水量が10立方メートル以下
の分については、1立方メ
ートルにつき160円から
130円に引き下げるとの
ことだが、今回の引き下げ
理由にある社会情勢の変化
とは、何を変化とみなして
引き下げに結び付けたのか。
答弁 村山広域水道の用水
供給事業の受水料引き下げ
と、少子高齢化等があげら



指定管理者の指定関係

**国際チェリーパーク・イベ
ント広場・チェリードーム・
臨川亭・チェリーランド河
川敷公園**

議員 申請団体が1団体と
いうことだが、応募方法
はどのようにしたのか。
答弁 市報とホームページ
で公募したものです。そ
の結果、1団体の応募しか
なかったものです。

にしね保育所

議員 にしね保育所の増築
および定員増に伴い、保育



田代地区多目的交流館

議員 管理運営を行うのは
NPO法人ということだが、
この法人の中で働く人は地
域の方に限定されるのか。

答弁 地区内で従事してい
ただけの方がいなければ、
地区外の方にお声掛けをす
るとのことです。
議員 NPO法人の役員等
に、他地域の人が入ること
は可能なのか。

答弁 現時点でNPO法人
役員に地区外の方はおりま
せんが、会員としては地
区外の方にも入っていただ
いております。

協定締結の一部変更関係

議員 寒河江市公共下水道
寒河江市浄化センターの建
設工事の協定金額が、減額
となった主な要因は何か。

答弁 設計精査により26
33万8千円、請負差金に
より56万2千円が減額とな
ったものです。

市道路線の認定関係

議員 ほなみ団地陵東中学
校線は、何年後ぐらいの完
成竣工を目指しているのか。

答弁 現時点では、2工区
に分けて工事に着手する予
定です。山西米沢線を例に
すると1工区に3年程度の
期間が想定されますが、で
きるだけ早く進めていきたく
いと考えております。

予算関係

障害児支援事業

議員 障がい児の放課後デ
イサービスは、どれくらい
利用されているのか。



答弁 現時点では把握しておりませんが、事業の補助要件が厳しく、中山間地の

議員 事業の対象者は2人だが、他に該当者を把握しているのか。

水田農業経営確立対策事業

答弁 支給額は児童が4万600円、中学生が4万7400円です。対象者数は児童が20名、中学生が34名となります。

議員 準要保護児童・生徒（中学生）の保護者に対する、新入学学用品費の1人当たりの支給額はいくらか。また、対象者数は何名か。

就学援助事業

答弁 1月当たりの利用件数で、70件から80件程度で推移しております。



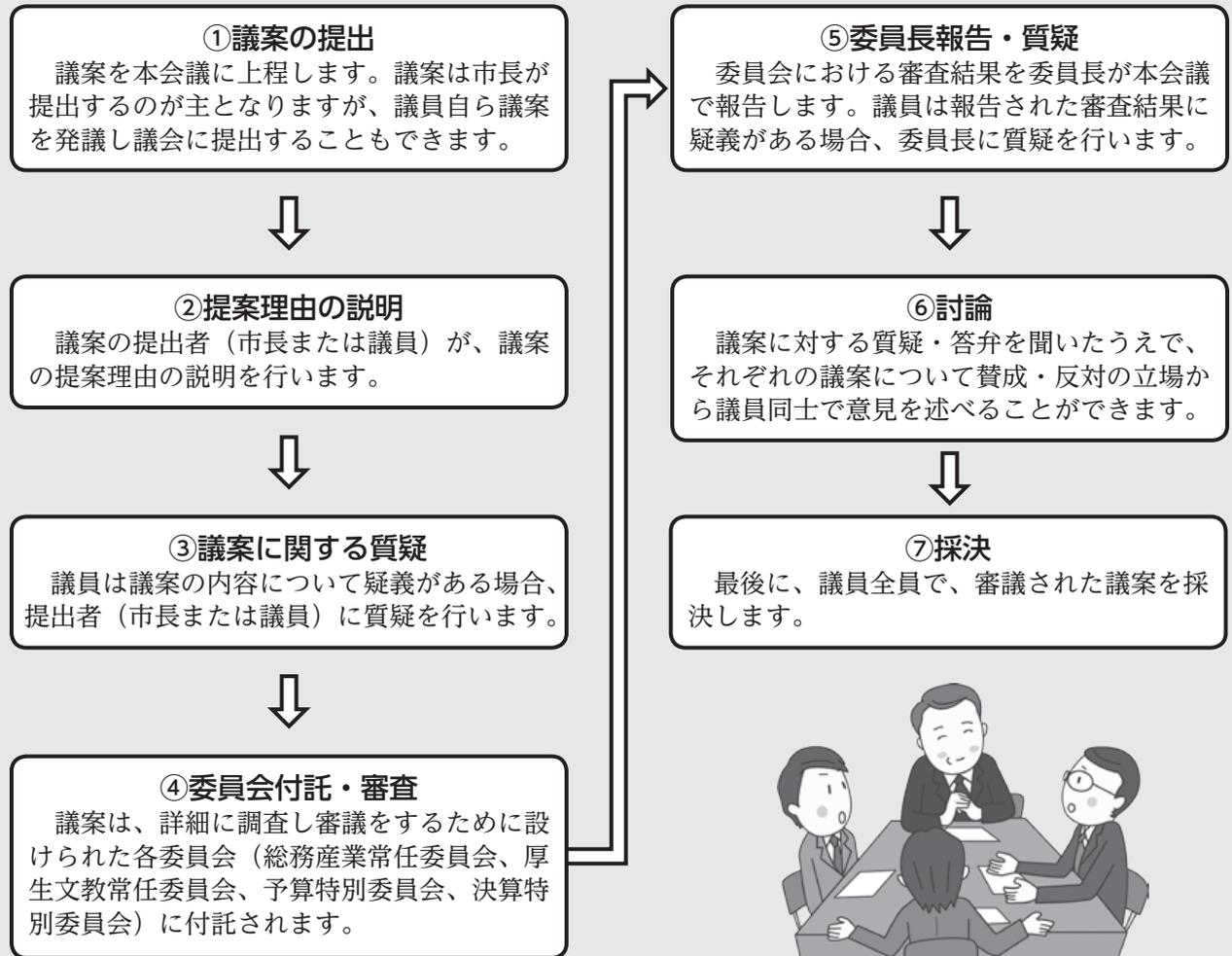
多くの人でにぎわう「つつじまつり」

議員 4月から6月のイベントを対象にポスターを作成するというのだが、具体的にどこへ配布するのか。

まつり振興事業

答弁 市内では教育機関や企業、飲食店、商業施設等、市外では近県の観光協会、観光施設、道の駅、サービスイリア等に配布しており、祭りに対する地元の盛り上げや観光客誘客のための情報発信を行っています。

議会では、おおむね次のような流れで議案の審議を行っています



第2回臨時会、第4回定例会（12月定例会）の提出議案と採決結果

	議案番号	議案名等	採決結果
第2回臨時会	承認第5号	専決処分の承認を求めることについて（平成29年度寒河江市一般会計補正予算（第5号）） 第48回衆議院議員総選挙のための費用1,944万3千円を専決	承認（全会一致）
	議第56号	平成29年度寒河江市一般会計補正予算（第6号） さがえっこすくすくステーション整備事業費1,108万6千円を追加	可決（全会一致）
第4回定例会	議第57号	寒河江市教育委員会委員の任命について	同意（全会一致）
	議第58号	平成29年度寒河江市一般会計補正予算（第7号） 人事異動に伴う一般職の職員給与費、障がい児の放課後等デイサービスなどの障害児支援事業費、農業機械等リース経費の一部を補助する水田農業経営確立対策事業費、チェリーランドさくらんぼ会館の空調設備更新のための公園整備事業費等8,155万9千円を追加	可決（全会一致）
	議第59号	平成29年度寒河江市浄化槽整備事業特別会計補正予算（第1号） 人事異動に伴う職員給与費52万7千円を追加	可決（全会一致）
	議第60号	寒河江市水道給水条例の一部改正について	可決（全会一致）
	議第61号	国際チェリーパーク、イベント広場、チェリードーム、臨川亭及びチェリーランド河川敷公園に係る指定管理者の指定について	可決（全会一致）
	議第62号	寒河江市立にしね保育所に係る指定管理者の指定について	可決（全会一致）
	議第63号	寒河江市田代地区多目的交流館に係る指定管理者の指定について	可決（全会一致）
	議第64号	「寒河江市公共下水道寒河江市浄化センターの建設工事に関する協定の締結について」の一部変更について	可決（全会一致）
	議第65号	市道路線の認定について	可決（全会一致）
	議第66号	西川町路線バスの路線新設及び路線変更に関する協議について	可決（全会一致）
	議第67号	平成29年度寒河江市一般会計補正予算（第8号） 山形県人事委員会勧告を受けて、特別職および一般職の給与等の経費1,303万9千円を追加	可決（全会一致）
	議第68号	平成29年度寒河江市浄化槽整備事業特別会計補正予算（第2号） 山形県人事委員会勧告を受けて、一般職の給与等の経費7万8千円を追加	可決（全会一致）
	議第69号	寒河江市特別職に属する者の給与等に関する条例及び寒河江市立病院事業の管理者の給与等に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
	議第70号	寒河江市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	可決（全会一致）



辻 登代子
議員

防災士育成をどう推奨するか

①防災士の資格取得要件について伺う。

②自助、共助、協働の原則で地域の活動を強固なものとし、行政とのパイプ役や避難誘導、救助等の指示ができる役割を果たす防災士養成の必要性について伺う。

市長 ①防災士の資格の取得は、普通救急救命講習受講者が、日本防災士機構が認定する研修を終了し試験に合格することで取得する方法と、消防職員や消防団員に対する資格取得の特例を活用し、申請により取得する方法があります。②防災士は防災に関する知識・経験等を有し、地域の防災力向上のリーダーとして重要な資格であり、養成の必要があると考えています。

災害図上訓練D-I-G(ディグ)の導入を望む

①災害図上訓練D-I-Gの利点は、地域で起こりうる災害の現状を知り被害想定が具体的に描き出され、



市消防団第二分団第二部管内防災マップ

防災の可能性を見いだすことにある。実施の方向性について伺う。

②防災力の活性化と、市内中心地にある自主防災組織が設立されていない町内会の組織化へ向けてのD-I-Gの導入について伺う。

市長 ①これまで島区、清助新田、柴橋区の自主防災会でD-I-Gを実施しています。市では補助制度を設け、活動の支援を行っていますので、ぜひ活用し多くの地域でD-I-Gを実施していただきたいと思っています。

②自主防災会が未組織の町会については、D-I-Gの導入や防災研修会の開催など、様々な提案をしながら一日も早い組織化をお願いしていきたいと考えています。



國井 輝明
議員

県産材の普及・利用促進を

①寒河江市としての今後の森林整備の方向性について。

②県産材（西村山産材）を公共施設等へ積極的に活用すべきではないか。

市長 ①森林整備については、所有者から要望をお聞きしながら、資源活用と鳥獣害被害防止の観点からも市全体の問題として捉え、県や西村山4町と連携し検討して



保育所や学校校舎への活用が期待される県産材

いきます。

②現在進めている、なか保育所の移転計画に「環境にやさしく木のぬくもりが感じられる保育所として県産木材を活用する」という基本コンセプトを提示しており、今後でもできる限り西村山産材を活用していきたいと考えています。

寒河江市公共事業整備優先順位基準の見直しを

①これまでこの制度を進めてきた中で、課題となつていくについで。

②実現できていない要望の取り扱ひも含め、今後の優先順位のあり方について。

市長 ①社会資本整備総合交付金などを有効に活用し実施していますが、限られた予算で全ての要望に応えることは難しく、苦慮しています。

②優先順位基準は実情に合うよう変更が必要と考えており、随時見直しを行っていきます。事業化ができない要望個所については、例えば10年とか年数を区切り、説明を申し上げながら再度の検討をお願いしたいと考えています。



伊藤 正彦
議員

公共交通サービスの充実・拡大を

①デマンドタクシー対象外である入倉、上河原、白岩地区の奥まった地域等は交通空白地帯と考えるが、何がハードルになるのか。

②高齢者や障害者手帳を持たない体の不自由な方々を対象とするような例外規定は設けられないか。

③市内循環バスは寒河江川を越えず、また、西部・柴橋地区もルートに入っていないが、その理由は。④東根市、村山市は県立河北病院まで運行し、河北町営バスは東根市まで運行している。本市は市外への運行をしていないが、何か条件が違うのか。

市長 ①デマンドタクシーを利用できるエリアは、バス停留所から500mより遠い地域、また、一つの地域で、地域の半分以上が500mより遠いということ等を基準としており、路線バスと競合することがないように調整をしています。エリア拡大には、バス事業者



寒河江市デマンドタクシー利用者証

から営業に支障をきたさないと判断いただき、合意を得ることが必要となります。

②例外規定の導入には、合意を得られる制度設計をし、折衝を継続する必要があります。また、デマンド型交通とは別の枠組みでの支援の可能性がないか、併せて検討する事も必要と考えています。

③市内循環バスは、市の中心部にある公共施設や医療機関、商業施設などの拠点間を移動するための交通手段として導入しています。

④東根市・村山市・河北町のバス路線には、他の路線バスは運行しておりませんが、寒河江市・河北町間は山交バスが運行しており競合となるため、ハードルが高い状況にあります。



渡邊 賢一
議員

市民浴場移転と施設の充実を

施設の老朽化が進み、活断層上にある最も危険な建物であり、できるだけ早く進めてほしい。日帰り温泉で人気のある周辺自治体に負けないよう設備を充実すべきだ。また、「健康増進・疲労回復・若かえり」などのコンセプトのもと、地元南部地区をはじめ市民の多様なニーズを踏まえ、子育て支援・老人福祉の機能を併せ持つ複合施設などもぜひ検討すべきだが、計画の概要について伺う。

市長 今年度、移転候補地や概算事業費等を調査しており、その結果を踏まえ検討していきますが、汲み上げている湯量はほぼ上限で更なる湯量の確保は難しく、また、市内の民間日帰り温泉の営業を圧迫するような施設は難しいと思っています。ご提案や利用者の声を参考に、温泉を気軽に楽しむという今の施設の魅力アップを図りながら、市民に愛される施設にして

いきたいと思えます。

老人福祉センター「白岩温泉」のレジオネラ菌検出問題

この菌に感染すると、高熱のポインタック熱や肺炎、最悪の場合、死に至るといわれる。16年前の教訓が活かされていないのではないか。原因究明や衛生管理対策と同時に、7月から長期間休止の理由、再開のめどについて伺う。

市長 保健所の指導を受け、浴槽等の洗浄消毒の徹底等を行うとともに、老朽化した設備の負荷にならないよう最善の方策をとるべく、いろいろな方法、経費の検討を行いました。改修の方法に紆余曲折があり、休止状態が長期間になってしまいました。再開のめどは2月初めを予定しています。皆様にはご心配とご迷惑をおかけしておりますことをお詫び申し上げます。



老人福祉センター白岩温泉
「小さな温泉大きな幸せ しらいわ温泉」



支援制度を活用して改修したトイレ

市長 ①毎年春と秋の2回、市内約200社を対象に行っている業況調査では、平均的な業況を100とした場合、今年度秋の数値は85・5という結果で、今年度春から4・3ポイント、前年度同期よりも0・4ポイント改善しており、各事業者の判断では徐々に改善し

中小企業の元気で まちも元気に！



遠藤智与子
議員

企業の99%は中小企業で、そこで働く人は約7割だ。そこに光を当て活性化させていくことで、まちにぎわいと安定した生活を。

①現在の中小企業の業況は。
②様々な支援制度等を整備するためのバックボーンとして「中小企業振興条例」制定を含む今後の中小企業支援は。

ていると認識しています。

②地域ぐるみで中小企業を支援することを理念とした「中小企業振興条例」は、商工振興策のひとつの旗印ではありますが、自治体の責任下でこれまで以上に機敏で積極的な支援も可能であり、条例制定も含めて鋭意検討します。

介護保険料の負担を減らして！

第7期介護保険事業計画が策定されるが、今以上の負担は耐えがたいと多くの声が寄せられている。①保険料の段階を細分化し、応能負担を強めてはどうか。

②低所得者への減免制度を拡充すべきと考えるがどうか。

市長 ①低所得者層の保険料を低く抑えるには、一番高い9段階を細分化し、高所得者層の保険料を上げる必要があります。高所得者層の人数は低所得者層に比べ少なく、保険料の値上げが相当な額となるため難しいと考えています。②低所得者に対する介護保険料や利用料の軽減策は、国の責任において総合的かつ統一した対策を講じるべきであり、全国市長会を通して国に要望しています。



柏倉 信一
議員

公共施設にPFI

民間の資金とノウハウを活用し公共サービスを民間主導で行う。

また、施設の整備、大規模な修繕にあたっては、予算の平準化が図られるという視点からPFIの取り組みを検討すべきと思うがどうか。今後、PFIの導入を検討している案件があれば伺いたい。

市長 PFIは民間の考え方や活力を導入することで、事業費負担の軽減をはじめ民間ビジネスの拡大・効果も期待できると認識しており、財政の平準化、負担減を念頭に、有効かつ現実性のあるものについては、総合的に判断したいと考えています。現在、塩水地内で行う市営住宅団地整備で導入に向けた可能性を探っています。

米の消費拡大に 「目覚ましご飯の推進」を

米の消費は昭和37年を頂点に毎年減少傾向にある。ピーク時と比較すると半分の消費となり、米の



目覚ましご飯に「雪若丸」

需要量は毎年8万トン減少している。新年度から政府主導による減反政策も撤廃されることから、市独自の取り組みとして米の消費拡大に向けた「目覚ましご飯の推進」に取り組みはどうか。

市長 市では「早寝早起き家族一緒に朝ごはん運動」を展開しております。この運動は、朝食の欠食率を半減させることを目標として掲げ、特に若い世代に対し啓発活動を行いながら、米の消費拡大にもつなげようとするものですが、今後、市産米を食べてもらおう取り組みも進めていきたいと思っております。



阿部 清
議員

さらなる国際交流促進を！

①9月の台湾経済ミッションに市長が特別顧問として参加した。訪問は経済活動が主目的であり、現地政財界人との交流・懇談により相互理解を深めて来た。今後の交流拡大へ期待が膨らんでくる。さらなる交流推進の必要性を伺う。

②市長の台湾斗南鎮訪問、そして斗南鎮長の「将来へ向け姉妹都市を結べたら嬉しい」とのコメント、さらに昨年11月の斗南ロータリークラブ一行の本市訪問等、このような交流を踏まえ姉妹都市締結の可能性について見解を伺う。

③小学校教育で情報化やグローバル化に対応するため、英語学習の推進をした。国際感覚を養う子どもたちの海外交流について伺う。

市長 ①今年2月、国連世界観光会議が山形市で開催され、その際に最上川ふるさと総合公園で実施される第3回やまがた雪フェスティバルの視察も予定されています。



台湾斗南鎮からの訪問団

この機会に台湾を含む海外の観光関係者に本市を広くPRし、観光誘客につながりたいと思っています。

②姉妹都市締結に当たっては、何よりもまず市民の理解と機運の盛り上がりが必要であると考えています。さらなる交流の広がりにより、機が熟すものと思っております。これまでの姉妹都市締結同様様々な段階を経て、議会のご意見も踏まえて判断していきたいと考えています。

教育長 ③海外交流については、その意義や派遣先などを含め、調査研究を進めていきます。



石山 忠
議員

狭隘市道の課題解決と私道の整備支援を！！

基幹道路整備とともに進められている生活道路対策と計画について。

①「市道認定基準等に関する要綱」による認定件数の推移について。

②電柱などの構造物により一層狭くなり、通学の子どもたちや歩行者、運転者の障害になっている市道での構造物の個人敷地への移転など、住民への協力を求める対策はどのようになっているのか。

③除雪も困難な狭隘な市道の対策を、どのように考えているのか。

④認定基準の変更により市道編入ができなかった私道の対策、特に、私道整備費補助金交付規程について、改修が困難な市民に配慮した支援策として考えるべきだと思いが、いかがか。

市長 ①認定件数は、平成22年度が38路線、23年度が2路線、24年度が3路線、25年度が5路線、26年度が2路線、27年度が1路線、28年度が7路線となっています。



劣化が激しい市道側溝

②道路拡幅や側溝整備工事の際には、電柱の個人敷地等への移転をお願いし事業を進めています。また、公共事業整備優先順位基準でも、電柱移転の同意状況の評価も行っており、優先的に整備を進めています。

③細道路沿線の家屋の改築等に際しセットバック（後退）による道路事業用地の確保など、防災上の観点からも、できれば来年度から狭隘道路の解消に取りかかれるよう検討していきます。

④私道整備費補助金交付規程は、既存道路整備の経年劣化に対応できるような、改修費等も補助対象とする見直しを行っています。今後、私道を市道にするための必要な整備に対応した助成の検討を行うなど、制度見直しを行っています。

行政視察の報告をします

議会には内部組織として、議案や様々な事案をより詳しく調査し審議をするために、総務産業常任委員会、厚生文教常任委員会、議会運営委員会が設置されています。議会の充実と行政課題解決のため各々テーマを定め、先進地の行政視察を実施しました。その概要について報告します。

総務産業常任委員会

10月25日～27日

広島県原市

三原市地域商業活性化支援事業

人口減少や大規模小売店の進出により、中心市街地の5町を除く周辺地域では、新規事業の創出および既存店舗の経営の継続が難しい状況となっている。

このため、周辺地域において、空き店舗等を活用した新規事業や既存店舗が店舗の改装等を行う際の経費の一部を助成し、新規事業が創出しやすい環境整備を図るとともに、既存店舗の経営支援・商業の活性化を図ることを目的に、平成26年度の新規事業として始めた。

新規出店支援では、空き店舗等

を賃借、自己所有の空き店舗等を改装、店舗を新築または取得への補助が、経営支援では、既存店舗の改装や建替え（移転を含む）をする際に補助することで事業の新規参入・継続を図っている。

平成26年度以降の利用実績は合計47件で、2226万6千円を補助した。従来は飲食業、美容業が多かったが、最近は小売業が増えてきている。

広島県尾道市

尾道市歴史的風致維持向上計画

計画策定に至った背景には、平成2年と17年の2度にわたるマンション計画がある。1度目は、尾道市景観形成基本計画等を策定したほか、市景観形成推進協議会を設置し対応。2度目は、尾道市景観条例、尾道市屋外広告物条例を

制定するなど、迅速に対応した。

従来の景観行政は、届け出制度で「指導」をお願いであったものが、届出・認定制度に変わり、勧告や変更命令、原状回復命令等が可能となり、罰則規定もできた。

また、景観地区内では、標高40mの保全ラインを超える建築はできず、さらに、屋上での広告物設置も禁止している。その他、重点区域内を対象に、まちなみ形成事業、沿道建造物等修景事業、空き家再生促進事業、老朽危険建物除却促進事業で補助金を交付している。

岡山県井原市

井原市経済・雇用・移住定住対策事業（イバラノミクス22本の矢）

事業を開始した背景には、多様な製造業が集積していることおよび厳しい経済状況があり、これらに対応するため各対策事業を矢と見立て、平成25年度に8本の矢として開始。平成26年度に16本の矢、平成28年度には20本の矢、平成29年度からは22本の矢となり、年々内容を充実させている。事業項目は3年に1回見直しし、利用がなければ項目から外している。

事業内容は、設備投資や人材育



三原市地域商業活性化支援事業を視察

岡山県瀬戸内市

瀬戸内市自主防災活動促進事業

明治以降、震度4以上は発生していない災害が極めて少ない所であるが、今後起こるとされている南海トラフ地震では、かなりの被害が出ると想定されている。

自主防災組織の組織率は74.7%と決して高くはないが、東日本

大震災をきっかけに公助の限界を認識し、共助の強化に努めてきている。自主防災組織の「結成率＝地域の防災力」とはならないという認識から、組織率の向上だけでなく、自主防災組織のリーダー育成や災害図上訓練DIG(ディグ)を核とした地域防災の導入、動く自主防災組織の育成を念頭に活動している。また、9月に防災会議の日(家族で話し合おう)を制定するとともに、小中学校の教職員を対象とした防災研修も実施している。

厚生文教常任委員会

10月17日～19日

京都府向日市

認知症の取り組み

高齢者のためのガイドブックを作成し市民に配布することで認知症をはじめ、高齢者福祉に対する多様な施策を展開している。見守りSOSネットワーク事業や物忘れ健診事業、認知症対応型カフェ事業、認知症サポーター講座等を実施しており、認知症の早期発見、予防策に力を入れ、まち全体で認

知症の方や家族を温かく見守る取り組みを行っている。

福井県勝山市

子育て支援日本一に向けた取り組み

誰もが夢を持って子育てができる地域づくりや社会環境を整えるため「子育て環境日本一」を目指すことを基本理念として、様々な施策を展開している。

中でも、すくすく育成奨励金では、第3子以降の出生に対し20万円を支給したり、10カ所の小学校区それぞれに設置してある放課後児童クラブに通う小学生の利用料が無料だったりと、子育て環境日本一を目指す意気込みを感じた。

国史跡白山平泉寺旧境内整備事業

史跡内にあるガイダンス施設内で史跡の概要や整備事業の説明を受け、質疑後、実際に史跡内を案内していただいた。平成20年から5年にわたる第一期整備が終了し、現在は史跡内の公有地や整備地の除草等を行っている。今後は、公有地を順次発掘調査し整備していくとのことである。

第一期整備では史跡内にガイド

ンス施設を造り、平泉寺旧境内の発掘調査の成果や白山信仰等について、見て・触れて・聞いて・体感できる、史跡探訪の起点施設と位置づけた。文化庁補助事業対象外の部分については、福井県の「ふるさと創造プロジェクト事業」の採択を受け整備事業を展開している。昨年は、開山1300年記念イベントを展開したほか、2年前のJ-Rキャンペーンでの紹介や旅行業者に昔寺としての魅力的な写真を送付したことなどが大変好評を得て、観光客誘致の倍増につながった。

福井県あわら市

HEECE構想

HEECE(ヒース)構想とは、市の重点施策である「若い世代が住み、生み、育てたくなるまち」を推進する事業の総称であり、健康(Health)・教育(Education)・環境(Environment)・コミュニティー(Community)・経済産業(Economy)から英単語の頭文字を取り名付けた造語である。今年度は、さらにプラス事業も加えて、42事業が実施されている。

あわらの健康「食べ・歩き」おばあちゃんの味の日事業では、毎月25日をおばあちゃんの日と定め、広報誌等に伝承料理を掲載し、学校給食でも採用している。たくましい保育教育事業では、あわら式幼児教育の実践事業として、公立こども園での運動指導やしつけ等を身に付けさせている。エコと自然のポータルプロジェクト事業では、市民会議で発案し、グリーンカーテンやごみ減量化を市民が中心となって推進している。子育て環境や住環境等を向上させ、まちに魅力を感じてもらおうことで移住・定住、交流人口の拡大を目指していた。



国史跡白山平泉寺旧境内整備事業を視察

議会運営委員会

11月16日～17日

埼玉県所沢市

議会基本条例の検証および評価

所沢市の議会基本条例の検証および評価については平成19年、専門的知見の活用を図るため、地方自治法に基づく調査研究を進め、議会基本条例の制定・評価・改正に取り組んだ。平成21年、基本条例施行以後毎年度、市民の負託に応えられる議会の実現および議会運営の活性化を図るとともに、説明責任を果たすために、議会が実施する事業・議会改革について、条例に基づいた議会評価を行って



議会による事務事業評価、タブレットの活用を視察(守谷市)

いる。さらに、平成25年からは、実効性を高めるため議会評価実施要綱を制定。議会運営委員会と広報広報委員会の2委員会所管事項に区分し運営している。評価(達成度および方向性)については、2委員会の自己評価を経て全体で7段階による事業評価を行っている。

茨城県守谷市

議会による事務事業評価

守谷市議会による事務事業評価は、平成25年から前年度の決算審査の結果や指摘事項について翌年度予算編成に反映させるため、「事業評価(仕分け)」を取り入れ、0点から100点まで6段階の基準を設定し評価を行っている。導入のきっかけは「議会が何をしているのか分からない」「議会は必要なの」といった市民からの議会不要論から危機感とともに改革が進み、通年議会も導入し活性化を図っている。

事業仕分けのスケジュールは、決算特別委員会、常任委員会単位の分科会、定例会議会での中間報告、事前評価シートでの評価、決

議、執行部との意見交換会を経て市側から提出される「重点事業仕分けへの対応」による予算内示会、3月定例会議会での審査となる。

タブレットの活用

タブレットの活用については、平成26年「市議会における情報通信機器に関する運用基準」を定め

タブレット端末を導入し、平成28年に現在の機種「iPad Pro」に更新した。資料は予算書、決算書まで全てをデータ化し取り込んでいた。文書管理システムは本市と同じモアノートを使用し、会議、情報伝達、情報収集、情報の共有化等、本市と同じ運用であったが、災害時の活用も検討していた。

議会日誌

10月21日～1月20日

10月	23日	宮城県村田町議会行政視察団来寒、デュアル・モード・ビークル推進協議会勉強会
	24日	県・市町村行政懇談会
	25日	総務産業常任委員会行政視察(～27日)
	26日	京都府京丹後市議会行政視察団来寒
	30日	寒政・公明クラブ行政視察(～11月1日)
11月	1日	庄内町議会行政視察団来寒
	2日	議会改革・活性化検討委員会
	6日	議会運営委員会、議会運営委員会協議会、議会報告会(～10日)
	7日	福島県田村市議会行政視察団来寒
	8日	全国市議会議長会評議員会、寒政・公明クラブ行政視察(管内)
	9日	第2回臨時議会、全員協議会、議員懇談会、
	13日	県市議会議長会議会報研修会
	14日	県市議会議長会定期総会、議会運営委員会協議会、寒政・公明クラブ行政視察(管内)
12月	4日	第4回定例会(～15日)、議会だより編集委員会
	6日	タブレット導入検討会
	8日	スポーツ議員連盟役員会
	14日	議会運営委員会、
	15日	総務産業常任委員会協議会
	19日	議会だより編集委員会
	20日	議会改革・活性化検討委員会、タブレット研修会、
	25日	西村山地方開発重要事業要望にかか
1月	9日	厚生文教常任委員会協議会
	9日	議会だより編集委員会、厚生文教常任委員会協議会
	12日	田代地区多目的交流館視察
	19日	議員懇談会、議会改革・活性化検討委員会
	20日	寒河江子ども議会

市民の声



仲田町

木村 二男さん
きむら ふたお

先日、寒河江自動車学校で行われた「どさいぐなやつす」といった徘徊高齢者に対する声かけ訓練に私も参加しましたが、思うように上手にできるものではないかもしれません。何回も何回も訓練することにより、声かけに自信がつかます。

ますます増える高齢者へのこのような訓練は、寒河江市が県内随一で進んでいると聞いて、素晴らしい事だと感心しております。

また、高齢者の安全対策として一人暮らし世帯の見守りや大規模災害発生時の救出など、民生委員、町会長、地域福祉推進員の三者連携による取り組みがより重要であると思います。加えて各地区に設置してある自主防災組織と併せて取り組むことになれば、より安心して暮らせるのではないかと思います。

3月定例会の日程(予定)

- 2月28日(水) 本会議(議案上程、説明)
- 3月2日(金) 本会議(一般質問)
- 6日(火) 本会議(一般質問)
- 7日(水) 本会議(質疑)、予算特別委員会、各分科会
- 9日(金) 予算特別委員会、本会議(採決・質疑)、各委員会・分科会
- 12日(月) 各委員会・分科会
- 13日(火) 各委員会・分科会
- 14日(水) 各委員会・分科会
- 19日(月) 予算特別委員会、本会議(採決)

※いずれも9時30分から開会します。

※日程は変更になる場合がありますので、議会事務局(☎86-2111)にお問い合わせください。

議会の傍聴においでください

本会議を傍聴する際には、受付簿に住所氏名を記入の上、議場にお入りください。

議会の会議は原則公開です。

■3月定例会の請願・陳情の締め切りは、2月22日(木)の正午までです。



楯町会

松田 孝さん
まつだ たかし

ここ楯は、14世紀末に白岩城築造から、白岩大江氏・松根光広・酒井忠重城将が270余年の間、城歴を引き継ぎ、近年には城址「新楯」の遺構も発見。東北の名城として紹介されたことで注目されています。

楯町内は古刹洞興寺を入口に大門・直屋敷・上屋敷

と伝え、また、沼前・堀端・内楯・堀切の小字も古文書に残り、城址を中心に47戸が居住する町会です。

昨年度は町会に存在する6カ所の「坂」に名前を公募し、小学生以上の方に投票をお願いしました。命名(菅沼坂・地藏坂・いなり坂・城下坂・横丁坂・延命坂・忠魂坂)は歴史的背景を尊重して決定し、活用を図っています。

道路や居住環境が整う今日、公民館の老朽化と諸課題が山積みする中、公民館新築へ一歩前進させ、その計画を推し進めております。

編集後記

あけましておめでとうございます。市民の皆様、今年は何のような年にしたいとお考えでしょうか。

第4回定例会も終わり、今年、第6次寒河江市振興計画の3年目となります。これまでの評価はそれぞれかと思いますが、より良い市政のために私たちも努力していきたいと考えておりますので、どうか率直なご意見をいただければと思います。

さて、昨年は、市議会として政務活動費のホームページ上での公開やタブレット端末の導入など、県内の中でも積極的に議会改革等に取り組んできたと自負しておりますが、まだまだ取り組むべき課題は数多くあると認識しております。議会に対する皆様のご意見も、併せていただくことをお願いいたします。

伊藤 記



楯子ども会のたるみこし